

「音」

Bridge
建材・設備・建築士をつなぐ勉強会

連続講座vol.13
CPD 3単位

～ 調音空間の設計 ～

2017.11.21火 14:00-17:00 (受付 13:45 ～)

最近ではスピーカーやデジタル音源などの技術も飛躍的に進化し、音にこだわりを持つエンドユーザーも多く住宅においても良い音を楽しめる空間づくりが求められています。また、心地よい音がある反面、外からの騒音や共同住宅における遮音などトラブルの原因になることも多くあります。

この度のBridgeでは目に見えない設計の一つである「音」をコントロールする調音空間について建材の使い方と効果的な設計手法を学ぶと共に、ショールームで音の違いを聞き比べ体感することで「音」への知識を深めます。

＼プレゼンテーション／

吸音材と遮音材の正しい使い方

建築物において音の問題は建築物が出来上がってから表面化することが少なくありません。計画段階から音環境がまったく考慮されていない。ということは稀なケースですが、外部への音の漏れや室間の音の漏れには充分配慮されているのに、室内の音の響きに対する配慮が欠け、結果的に使にくい空間になってしまうことが起こっています。

今回のセミナーでは、もう一度「吸音」と「遮音」をご理解いただくと共に「吸音」と「遮音」をどのように使い分けるのかをご紹介します。

石井正光 (大建工業株式会社 秋葉原テクニカルセンター館長) / 大建工業株式会社入社 岡山工場防音開発室 → DAIKEN SARAWAK SDN BHD 社長 → 秋葉原テクニカルセンター 館長



＼プレゼンテーション／

日常の空間で音を整える設計手法

これまで光や温熱環境を整えられてきましたが、音環境が整えられる機会は多くありませんでした。しかし解析技術が進歩して、音環境も含めた快適な空間を提供できるようになってきています。

音楽ホールは響きを良くすることが最も重要ですが、住宅や居酒屋、ブティック、パチンコ店などでは、響きを良くして設計された例は少ないでしょう。そこで、建材の反射や吸音という機能に加えて「拡散」という考え方の有効性を踏まえて取り組んだ事例をご紹介します。

高安重一 (アーキテクチャー・ラボ 代表取締役)

/ 日本大学などで非常勤講師

音に配慮した主な作品: 東京理科大学コミュニケーション棟 (2005), 三井住友銀行環境配慮型店舗 (2011)



＼空間体験／

ショールーム見学・音の体感

サウンドショールームでは遮音性能の異なる3つの部屋を用意し、「普通の居室と2種類の防音室」の音漏れの違いや音の響きの違いを体感いただけます。住宅における日常生活の音から本格的な楽器演奏室まで、求める用途や性能に最適なプランを提案できる空間を見学します。



【申込】 東京建築士会HP もしくは下記URL・QRコードより申込みフォームにアクセス頂き必要事項を入力の上お申込みください

<URL> <https://goo.gl/forms/Oi4bSULUawLgjz0g1> <QRコード>



【会場】 DAIKEN 秋葉原テクニカルスペース

東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル3F

【参加費】 正・準会員 1,000円 ・ 一般 2,000円 【定員】 30名 (申込先着順)

※事前振込: 振込先はお申込み完了後にメールでご連絡致します

【問合せ】 一般社団法人 東京建築士会 事務局担当: 遠藤 TEL: 03-3536-7711

【主催】 一般社団法人 東京建築士会 / 一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

【企画】 一般社団法人 東京建築士会青年委員会

一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会 技術・景観部会

【Bridgeとは】 建築基準法の法改正・環境問題など、建築を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、住関連ビジネスにおいても、高度な情報・知識・技術を駆使できるプロが求められています。そして生活者(消費者)はより快適な環境の実現を求め、各産業への期待がますます大きくなっています。このような時代、材料設備を供給する企業産業と生活者に近く設計及びスペックインする建築士との勉強会を開催することにより、横断的な情報交流・研究の「場」となり、自己研鑽だけでなく新たなモノが創造(アウトプット)される環境となることを目指しています。



法令集との付き合い方(実践編)
裏面も
CHECK!!!